

田原小学校 学校運営協議会だより

鴨川市立田原小学校
学校運営協議会
第9号（令和6年度3号）
令和7年3月6日
発行責任者

令和6年度 学校運営協議会 第3回 開催！！



3月4日（火）午前中、本年度最後の「学校運営協議会」を開催した。

田原小学校創立150周年記念事業をはじめ田原小学校や田原地域にとって「達成感」の多い1年となった。第2回に引き続き鴨川市教育委員会指導主事をオブザーバーとしてお迎えし開催することができた。

以下に概要を紹介する。

令和6年度 第3回の概要

①学校運営の振り返り「学校評価」について

- ・概ね肯定的な回答をいただいたが、「ゲーム・インターネット・読書等」に課題が出ている。「ノーメディアデー」の取り組みについても次年度検討していきたい。
- ・学校への適応についての課題は、保護者や外部との連携をより深める中でより良い方向にもっていききたい。
- ・（オブザーバーより）授業参観を通じて教師と児童の人間関係が良いことを感じた。
- ・（意見交換では）大きなイベントも「達成感」があり良かったと思う。学力面と達成感のバランスを今後も考えた経営をお願いしたい。

②令和6年度学校運営協議会と地域学校協働活動の取組について

- ・地域全体の結びつきを考えた取り組みを今後も模索していきたい。
- ・ホームカミングデーへの協力、校内マラソン大会での多くの「監察」ボランティア、学校閉庁期間の花壇管理等。学校運営協議会委員・地域学校協働活動本部の皆様の絶大なるご協力に感謝。

③令和7年度学校運営協議会と地域学校協働活動の取組計画について

- ・令和6年度には、プール清掃に関して支援をいただいたが、本校のプール壁面は破損状態が激しく、安心安全な水泳指導が困難なため、令和7年度予算でKCCスイミングクラブで計4回8時間程度の水泳指導が可能となった。（移動は、市の移動教室バスを活用予定）

④地域連携に関する意見交換の中から

- ・PTAの弱体化が全国的に叫ばれている。省力化、家庭事情等々あるかもしれないが、情報の発信元の確保や組織化の問題も含め、学校運営協議会や地域学校協働活動本部の役割は大きくなるのではないかと。
- ・図書ボランティア「負担と思わず楽しんでやっている。」「お父さん、お母さんが本を読んでいる姿を見せるのが子どもたちにとっては一番」

⑤令和7年度の学校運営協議会組織について

- ・校長より次年度組織について説明（承認される）

学校運営協議会委員による授業参観



今回も、冒頭の30分間は「授業参観」だった。
会議室では「150周年事業」のレガシーの保存について説明を受けた。
廊下に展示されている図工作品を真剣に鑑賞する委員も多かった。
各学年の授業参観では、オブザーバー参加の指導主事の言葉にあるよう「教師と児童の信頼関係」を垣間見ることができたように思う。



『学校と地域でつくる学びの未来』より

文部科学省HPより「保護者・地域の方」向けに書かれたものから紹介

学校においては・・・いじめや不登校、貧困など、課題はより複雑で困難なものになっています。一方、これからの社会は…急速な発展により、予測不能な未来がくることが予想されています。

子どもたちは様々な課題を解決しながら、生き抜かねばなりません！

そこで、文部科学省では、2020年からの新しい学習指導要領を作成し、そのための法制度の整備や地方自治体への財政支援などを行っており、保護者や地域の方々や学校が協働して子どもたちの学びを支える取組を推進しています。

「誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが『当事者』として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子どもたちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな『志』があつまる学校、地域が創られ、そこから、子どもたちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。」

(中教審答申まとめから)

